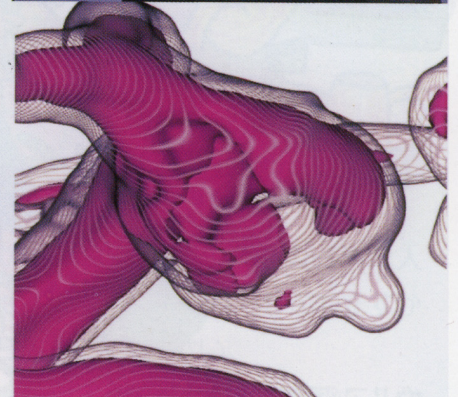
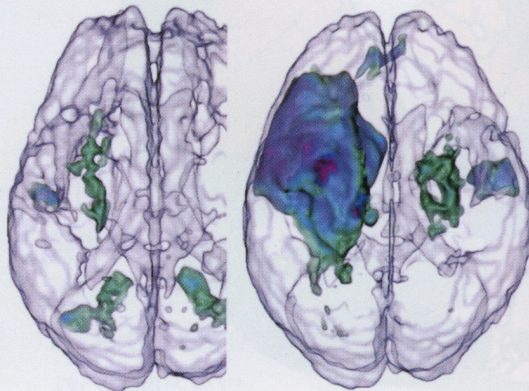
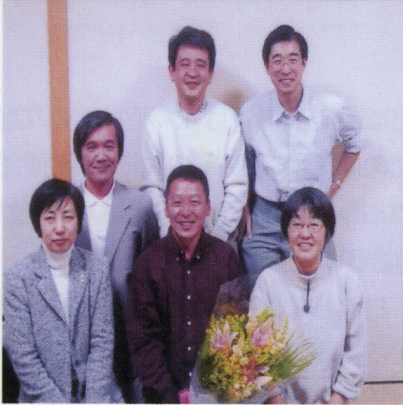
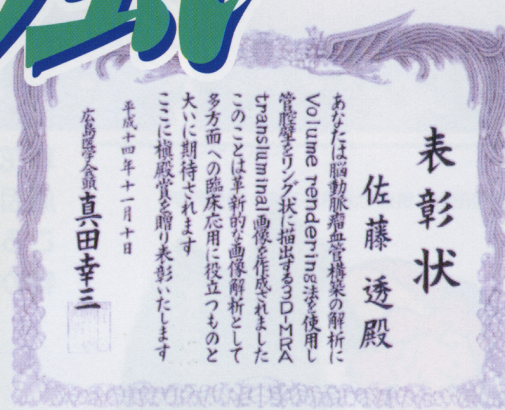


涼風



新しい立体画像の創作と広島医学会・楨殿賞

みなさんは、百聞は一見にしかず、という諺をご存知でしょうか？わたくしたち人には、知られざる世界について、いろいろと聞いたり想像したりするよりも、自分のこの眼で見たいという好奇心が本質的に宿っています。病気についても、ややこしい数字の羅列や難しい言葉の説明よりも、ひと目でわかる分かり易い写真で悪いところが見えるといいものですね。とくに、見ても触っても分からない頭の中の出来事なんて、ましてや、どこが悪いからと教えてくれない病気の人を前にして、正直なところ、先生にだって医学の知識だけでは分からないことはままあります。というわけで、頭の病気が疑われる場合は、まずMRIやCTで輪切りの写真をとって、頭の病気の見当をつけることになります。

ここ最近ではコンピューター技術がとてつもない速さで進歩し、おかげで、これまでののっぺらぼうな平面写真に替わって、遠近感のある立体的で、しかも映画のように動くカラー写真を秒単位の短時間で創ることができます。まさに、誰にでも「見て分かる」絵に画いたような身近な立体写真で、病気の悪いところが描かれる時代がもうすぐそこまでやっています。

そのなかで、毎日の診療のなか、コンピューターゲームのようなCG画像作成技術にいろいろな創意工夫を凝らし、MRIやCTで得られた頭の中の情報から、これまでにない新しい立体写真を創作することに成功し、最先端の専門学会や医学雑誌に発表してきました。たとえば、血流が止まって間もない新鮮な脳梗塞の傷を、頭の骨や脳みそを透視して、手に取るような立体写真として描くことができます。また、脳の血管にできたこぶ(脳動脈瘤)も、でこぼことしたこぶの形だけでなく、こぶの中で渦巻く血流をも、アニメーションのような活動写真として映し出すことができます。ちょうど、透明なコップに注ぐトマトジュースの動きが丸見えできるように、壁の向こうにある未知の世界を透視観察することができるわけです。

これらの新しい画像作成技術に対して、このたび、平成14年度、広島医学会・楨殿賞という荣誉ある御褒美をいただきました。これからも、日々の楽しみとして、MRIやCTの撮影技術にあれやこれやと工夫を凝らし、得られた体の輪切りの情報をいろいろな見立てで試行錯誤解析し、まさに見習い画家の境地で写実的な立体画像を、ちょっと芸術してみたいと思います。

医療法人社団 涼風会
佐藤脳神経外科

〒729-0104 福山市松永町5-23-23
 tel 084-934-9911 fax 934-9910



♪脳神経外科・神経内科
 放射線科・リハビリテーション科
 ♪通所リハビリ デイケア 帆かけ舟
 ♪脳ドックセンター“3次元立体写真館”

涼風会メニューのご紹介 ⑧

パートⅡ 通所リハビリテーション 帆かけ舟

年間行事

1月 初詣

2月 もちつき

3月 ひなまつり

4月 お花見

5月 運動会

7月 たなばた

9月 クッキング

10月 涼風祭

11月 かかし作り

12月 クリスマス会



もちつき

やっぱり手をついた餅はおいしいなあと、大好評の行事です。



レクリエーションのひとつ「フesenbale」熱中するといつも動かない手がでたり...

フesenbale



音楽療法

卵マラカスで ♪ヘーイ♪

年間行事の他、レクリエーション・工作・お誕生日会・そして音楽療法士による音楽療法をおこなっています。「家へおったら寝てばーじゃけど、ここは話や運動が出来るけええな〜」「皆で大きな作品を作り上げた時は嬉しいよな〜」「レクリエーションは体を動かすけええよ。家へおったらテレビの守ばーじゃ」「送迎車でいろんな所へいけるけえ楽しいな〜」「やっぱり来んといけん。若返るなあ」など等利用者さんの声です。